



～「多面的機能支払交付金」を活用した～

木崎地区 赤堀町と上田島の除草作業

多面的機能支払交付金とは、農業者と地域住民が農地、水路、農道などの地域資源を共同活動で保全・管理する活動組織に対して交付される制度です。

地域の人々が協力して除草作業を行うことで、**地域全体がより住みやすく、安全で魅力的な場所**になります。

地域がつながり、人と人とのつながりも広がるこの事業を、**地域のお宝**としてご紹介します。



赤堀町メンバーの皆さん。木陰で一休み中。

赤堀町の紹介

暑い中、草刈り機を使って作業している様子



令和6年6月26日水、赤堀地域資源保存会の有志メンバーが集まり、新田武道館南側の農道で除草作業を行いました。約15名のメンバーが二手に分かれて作業を進め、約3時間かけて、草が生い茂って見えなくなっていた場所をきれいに整備しました。

メンバーの皆さんによると、約60年前、この場所は田んぼの所有者によってきちんと管理されており、現在のよう荒れた状態ではなかったそうです。皆さんの心には当時の田園風景があり、この場所を当時の姿に近づけたいという思いがあると言いました。

地域福祉係ではInstagram（インスタグラム）を開設しています。右のQRコードを読み取り、ぜひ地域の活動をご覧ください。



地域のお宝発見 ～太田市生活支援体制整備事業～

赤堀地域資源保存会 代表 大川敬道さん



この事業は大川さんから峯崎さんへと広がり、地域のつながりを深めています。

大川さんは太田市の市議会議員であり、多面的機能支払交付金を活用して木崎地区の除草作業を推進する第一人者です。

この取り組みは、大川さんのお住まいである赤堀町から始まり、かつて上田島の区長を務めていた峯崎美行さんにも紹介されました。

太田市では、市内の田畑の面積から計算すると、約4億円の申請が可能ですが、今年度は18団体、1億2千万円が申請されており、まだ約2億8千万円分の申請が可能でした。大川さんは、この制度をさらに多くの地域に広め、活用してもらいたいと考えています。

大川さんが始めた取り組みは、木崎地区の各地域に広がりつつあり、地域間の架け橋にもなっています。

上田島の紹介

上田島では、有志のメンバーによる除草作業を月に4回程度、多面的機能支払交付金の制度を利用して行っています。

令和6年6月6日(木)、峯崎さんと同じ町内に住む姉の井田さんと茂木さんの2名で、畦道の除草作業を行いました。

開催日によって集まるメンバーは変わりますが、普段は6名程度で作業をしています。峯崎さんから、「昔から住んでいた場所が荒れていくのは忍びないという思いから、この取り組みを始めました。この町の仲間区長さんを始め、有志のメンバーとこの事業を進め、町内の環境整備だけでなく、交流もさらに深まりました」とお話を伺いました。

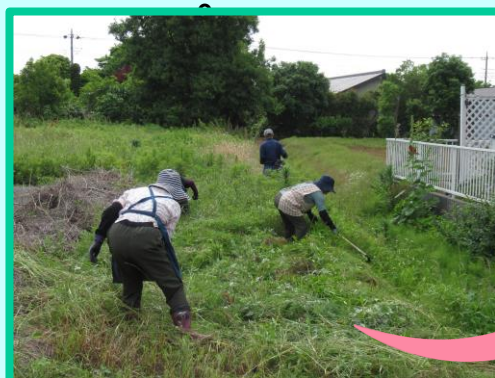


峯崎美行さん



R5撮影

上田島の有志のメンバーの皆さん。後ろの2名は井田さんと茂木さんです。



草刈り機と鎌を使って約2時間作業を行い、休憩を取りながら進めた結果、草に隠れていた道が見えるようになりました。また、落ちていたゴミも拾い、道が歩きやすくなりました。



ここ確認



赤堀町と上田島では、多面的機能支払交付金の制度を活用し、協力して除草作業を行うことがあります。地域同士の協力により、地域間のつながりが深まり、人々の絆も一層強まります。